

気弱な百姓おびき産地の精一杯(^; ;

東電に対する賠償請求についての説明会が市役所で開かれました。業界団体などでの請求に加わらず、個別で請求する人に向けての説明会だというので行ってみました。

最初に、主催した市のほうからあいさつがあって「東京電力さんにご足労を願って…」という説明。そっかあ100人ほどの被害者を前にして、そんなふうに加害者を紹介するかあ。ていねいな物言いにしても、やっぱり行政は被害者の気持ちに立って言葉を選んでもらいたい。と思ったけど、気弱な百姓は黙って聞いていただけでした。

次に、東電の補償センターだかの所長さんとやらが壇上から頭を下げました。すかさず「謝って済む問題じゃねえべ!」と怒鳴った人がいました。が、気弱にも私は拍手も同調もしませんでした。

そのうち、農家向けの書類がないことに気づいて、会場で東電の人に求めたら、きょうは持参してないとか。そして、別室へ通されました。

どうぞおかけください。と言われたけど、写真を見てください。被告

人席じゃあるまいし、あの位置のあのイスに座るほど、私は気が強くありませんってば。

取り囲まれるようにして立ち話。Uターンして有機農業をつづけてきたのに、放射能で台無しにされてしまった。一体どう賠償するのか。

という中身は、すでに春にも貴社のコールセンターとやらに電話してあるから、そっちで確かめろ。と切り捨てることもできず、気弱にも同じ訴えを繰り返したのです。

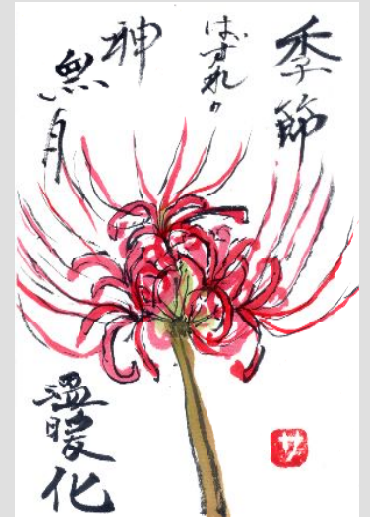
4人の社員さんたち、なんだかメモをとりながら話を聞いていたようだったけど、なんの回答も示せず、課長の肩書きのついた名刺を持った人を連れてきてただけでした。

結局、とにかく書類を出せというだけ。ただし、該当する書類が手もとにないので、後でコールセンターに電話すれば送付するとのこと。

いえいえ、気弱な私としては、そんな電話はかけられないので、直接持ってきてよ。いつと言わず、きょう中に届けてくださいな。

(つづく、かな)

ついでに課長さんに、本紙でも紹介したことのある写真をお見せしました。毎日新聞に掲載された飯舘村での謝罪の風景です。座布団の上から土下座の格好をしている社長さんたちについて、どう思うか聞いたんだけど「コメントは差し控えさせていただきます」だと。放射能被害者を前にしても、上司への遠慮が優先するらしい。それとも、被害者への誠意のなさは、東電の総意かい? とは、気弱な私は確かめることもできず、呆れてみせただけでした。



里のギャラリー 171

